

# 第九

新たなステージ  
〜歌い継ぐ未来へ〜



2019年12月21日(土)

18:30開演(17:45開場)

ベートーヴェン作曲 交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」  
ヨハン・シュトラウスII作曲 美しく青きドナウ

指揮:飯森 範親

ソプラノ:梅津 碧 | メゾソプラノ:在原 泉 | テノール:山本 耕平 | バリトン:小森 輝彦  
管弦楽:群馬交響楽団 合唱:高崎第九合唱団 合唱指導:赤羽 洋子/瀧川 幸恵/岸 裕之

高崎芸術劇場 大劇場

歓喜と感動のこけら落とし出演



高崎第九合唱団は 高崎芸術劇場開館記念演奏会で「第九」を歌い上げました。満席の観客と共に「歓喜」を共有し、新しい文化の殿堂に1ページを刻みました。熱い「感動」を込めて250名の団員で歌い継ぐ「暮れの第九演奏会」お楽しみに。



写真提供:高崎市広報課

主催:NPO法人 高崎第九合唱団 〒370-0863 高崎市聖石町9-13 (赤羽 027-322-0996)

後援:高崎市/群馬県教育委員会/高崎市教育委員会/群馬テレビ/上毛新聞社/群馬よみうり/FM GUNMA/ラジオ高崎/高崎市音楽連盟





## 飯森 範親(指揮) Norichika Iimori

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督 (GMD) に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、山形交響楽団音楽監督 (07年から)、東京交響楽団正指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。



## 梅津 碧(ソプラノ) Midori Umezu

青山学院大学文学部英米文学科卒業。東京音楽大学声楽演奏家コース首席卒業。ウィーン、ブライナー音楽院を最優秀賞を受賞し修了。現在、ウィーン国立音楽大学大学院オペラ科に在籍。国内外にて数多くのオペラ作品に出演。最近では、シェーンブルン劇場『魔笛』で夜の女王、日生劇場『魔笛』でパヴァーナなどを好演。オーストリアやイタリアなどでも数々のコンサートに出演。ウィーン在住。



## 在原 泉(メゾソプラノ) Izumi Arihara

弘前大学教育学部音楽科を経て、岩手大学大学院修士課程修了。日本声楽コンクール、他において上位入賞を果たす。2012年、山響創立40周年記念飯森範親氏指揮、歌劇「さまよえるオランダ人(演奏会形式)」マリーでデビュー。以降幅広い役柄を演じ、表現力に富んだ声で聴衆を魅了している。また、宗教曲やベートーヴェン「第九」のソリストとしても、数々の著名な指揮者、多くのオーケストラとの共演で活躍している。



## 山本 耕平(テノール) Kohei Yamamoto

東京藝術大学大学院首席修了。伊・ミラノ・ヴェルディ音楽院修了。文化庁在外研修員として渡伊。五島記念文化賞オペラ新人賞等多数受賞。オペラでは、二期会『ドン・カルロ』題名役、『リゴレット』マントヴァ公爵、『後宮からの逃走』ベルモンテ、『金閣寺』柏木等立て続けに出演し、好評を博す。NHKニューイヤーパーフォーマンス等メディアへの出演も多く幅広く活躍。米子市首都圏観光大使。とっとりふるさと大使。二期会会員。



## 小森 輝彦(バリトン) Teruhiko Komori

東京藝術大学大学院修了後、文化庁オペラ研修所を経て文化庁在外研修員としてベルリン芸術大学に学ぶ。プラハ国立歌劇場『椿姫』ジェルモンでヨーロッパデビュー後、アルテンブルク・ゲラ市立劇場専属歌手として活躍しテアター・オスカーを4年連続受賞、その功績を称え日本人として初めてドイツ宮廷歌手の称号を授与された。これまでに演じた役はヴォータン、ヴォツェック、マクベス等70を超える。東京音楽大学教授。二期会会員。



## 群馬交響楽団(管弦楽) Gunma Symphony Orchestra

1945年、戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指し創設。1955年には「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集める。1947年から始めた移動音楽教室では2018年度までに延べ638万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け、欧州4カ国を巡る海外公演を実現した。2015年11月には創立70周年を迎え、群馬県文化の象徴として県民から幅広く支持されている。2019年4月より小林研一郎がミュージック・アドバイザーとして就任、新たに開館した高崎芸術劇場に活動拠点を移し更なる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

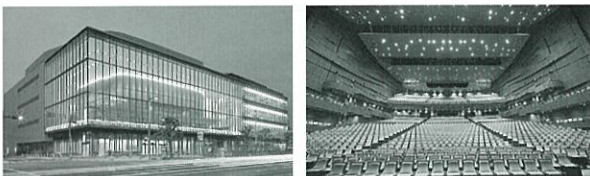


第9回海外公演(ポーランド)2018.10.10

## 高崎第九合唱団(合唱) The Chorus of Beethoven's Symphony No.9 Takasaki

1974年創立、2006年NPO法人化、ベートーヴェン第九交響曲を群馬交響楽団と共に群馬音楽センターの舞台で演奏してきた。1989年当時西ドイツのハイテルベルグ市において日本の第九合唱団初となる海外公演を行い、全国的な注目を浴びる。以後EU各国においてこれまで9回公演。2008年音楽による平和活動と国際交流活動が評価され、群馬県国際交流賞を受賞。国内では年末の「高崎の第九」演奏会のほか5月にはメイコンサートを開催、オペラや各国の歌を披露している。団員は年齢も様々であるが、ベートーヴェンの音楽を愛し「第九」の人類愛の精神を歌い、音楽による平和と国際文化交流を目指すことを共通の理念として活動を続けている。2019年からは新たに高崎芸術劇場という素晴らしいステージを得て、さらに未来へ歌いつぐことを目指す。

## 高崎芸術劇場 TAKASAKI CITY THEATRE



2019年9月20日開館。国内最大級の舞台面をもつ大劇場のほか様々なスペースと機能を持ち、国際的な演奏会にも対応する新しい文化芸術の殿堂。

アクセス | JR 高崎駅東口から徒歩5分 [〒370-0841 高崎市栄町9-1]

ヤマダ電機 LABI1 高崎 高崎市タワー美術館 ベストリアンデッキ ピックカメラ 高崎芸術劇場

※専用駐車場はございません

高崎駅西口市営駐車場ウエストパーク1000より無料送迎タクシー運行。(大劇場開催日の開演前2時間と終演後1時間、5分間隔)

### 料金

- S席 / 6,000円(指定)
- A席 / 5,000円(指定)
- B席 / 4,000円(指定)
- C席 / 3,000円(自由席)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

### チケット取り扱い

- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:164-781]
- 群馬音楽センター 027-322-4527(休:月)

### お問い合わせ (9時~18時)

- 高崎第九合唱団 070-4455-2190
- お問い合わせ専用電話 080-2563-5611

ステージ

